

# 市長が行く

## 積極的な企業誘致

No.66

茂原市長 田中豊彦



最近まで企業城下町で、安定した税収があり、安泰に行政運営ができていた自治体が、

企業の撤退等により突然窮地に追い込まれるケースがいくつか見受けられます。自治体

運営は、もはや与えられた税収で、ただ行政運営をしているだけでは、やっていけない時代になってきているように思います。自ら税収を増やす努力をする自治体と、そうでない自治体とは、今後大きな差が出てくるのではないかと考えます。

一昨年、茂原市からパナソニック液晶ディスプレイや東芝コンポネンツが撤退し、極端な税収の落込みが想定されました。そこで、先手を打って誘致活動を行い、パナソニックに代わってジャパnディスプレイを誘致し、また沢井製薬関東工場の拡張にもこぎつけました。皆さんの中には、この事を当たり前のように捉えている方もいると思われませんが、そうではなく、茂原市はかなり努力をしてい

ることを、ご理解いただきましたと思います。

もし、先述の企業が茂原に来てくれなかったらどうなっていたか、考えていただきたいと思います。

というわけで、今年も企業誘致に向けて関西方面に出張してきました。

一つには、茂原工場の拡張工事を済ませた沢井製薬へ隣接地の買い上げ要請です。今後、益々需要が見込まれているジェネリック医薬品の大手企業である沢井製薬が、更なる規模拡大に向けた投資を考えているとの情報をつかみ、今回、訪問しました。会長や常務とは、既に何回もお会いしているのですが、今回も建設的な話し合いが出来たと感じています。

またもう一つは、「茂原にははる工業団地」の売り込みです。

今回はジャパnディスプレイの工場長の紹介で、二つの企業を訪問してきました。最初の企業は、すでに千葉県内

に工場があり、今の敷地では手狭になってきていることから、「にはる工業団地」に関心を示してくれたような感触を得ました。

また次に訪れた企業は、茂原と縁浅からずの会社で、その社長が今の会社を興す前に、日立の茂原工場の方たちに相当な技術指導を受けたことがあり、よく茂原のことを知っていらっしやいました。お世話になった茂原市から市長が来るということ、朝から待っていてくれたようので、こちらも訪れた甲斐がありました。どんな仕事でも、人と人とのつながりはとても大切なことです。日立の方々から感謝します。

今回の訪問が、直ちに茂原への新たな企業進出に結びつくかどうかはわかりませんが、今後も積極的に企業誘致に向けて行動していきたいと思えます。

動いていかなければ何も始まりませんから。